



告する。このレポートでは辻川区の特性を姫路市大津区天満地域での同様の調査と比較することによっている。(1)辻川の昭和40年以後の世帯数がそれ以前の世帯数に近づいている。最近は集合住宅や一戸建てがさらに増加傾向にある(表)。(2)天満では祭りの運営がほぼ旧集落の地縁者に限られていて、辻川は新旧住民が隔たりがあるが、辻川は新旧住民がほん多く参加している。辻川は新住民にも参加しやすい雰囲気があり、声かけが日常的なされている方で、他地区の人からもそう言われる事がが多いのは語りです」との声も寄せられている。

昭和40(1965)年の地図で建物が存在している地域を旧集落、それ以降の新規転入世帯が多い地域を新集落としている。

区内新旧居住者の家族構成 [2015秋「居住者の祭りとの関わり方とコミュニティへの参加意識」調査]							
地域	対象世帯数(概数)	平均居住年数	家族構成の割合(%)				* アンケート回収率は60.9% (195部回収/320部配付)
			単身	夫婦	2世帯	3世帯	
旧集落	180軒	49.7年	4.4	35.3	45.6	14.7	
新集落	165軒	19.3年	12.2	28.0	53.7	6.1	

昭和40(1965)年の地図で建物が存在している地域を旧集落、それ以降の新規転入世帯が多い地域を新集落としている。

年、347世帯1097人となつていて。出展:注1は元文2年辻川村明細帳(三木家文書)、注2は村の戸籍簿(福渡七郎氏「辻川の昔」)

今号から4回連載で、江戸時代末期、三木家当主の代通明く7代通深の頃の辻川を紹介します。

## 江戸時代末期の辻川と大庄屋三木家(第一回)

第一回は三木家の代目当主通明(別称東作・藤作)の活躍と姫路藩との関わりを、藤作による職務日記「諸事控」に見ます。藤作は天明2(1782)年に生まれ、文化8(1811)年に辻川組大庄屋になり、文政2(1819)年からは山崎組大庄屋も兼常しています。大庄屋を務めた間に、その働きや救済活動などにより姫路藩の褒章を18回も受けしており、藩の家老・河合隼之助(守翁)は頃からこの25年間、福崎町の人口はほぼ横ばい状態だが、辻川では人口で20%、世帯数で56%も増加している。世帯当たりの人口は約1名減り、3名余りとなっている。

★1990年頃からこの25年間、福崎町の人口はほぼ横ばい状態だが、辻川では人口で20%、世帯数で56%も増加している。

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候  
道方 御役所  
右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木藤作(印)

文政十亥年七月

道方 御役所

右願書七月十七日、道方御手付水野快右衛門江相渡候

辻川組大庄屋 三木